

1 新消防庁舎建設の基本方針が決定

大規模災害への備え、迅速な災害対応、市民の防災意識の向上を目指す

現在の今之浦にある消防庁舎は、昭和 57 年に建設され、老朽化が進むなど防災拠点としての機能が十分に発揮できない可能性が指摘されています。また消防機能の分散、職員数の増員や資機材の充実、車両の大型化などで、庁舎の狭隘も課題となっていました。このため、新たな消防庁舎の建設の計画を進めており、以下の3つを方針とした基本設計が令和6年 12 月に完了しました。

なお、新消防庁舎には、磐田市消防署の機能、エリアが同じ東部分遣所の機能、消防本部の機能が入る予定です。

1 設計方針

- (1) 『迅速な出動』と『実践的な訓練』を実現する防災拠点
 - ・ 南側幹線道路へのスムーズなアクセスを実現する建物及び車庫配置
 - ・ 実際の災害を想定した様々な実践的な訓練(高層住宅や山岳救助等)設備の整備
- (2) 『環境親和型の庁舎』と『健康で快適な環境』の実現
 - ・ 太陽光や雨水等を効率的に活かした環境親和型の庁舎
 - ・ 執務空間や生活空間は消防職員に寄り添った環境を提供
- (3) 市民の防災力を育む、庁舎内外に展開する『防災アミューズメント』
 - ・ 市民が消防活動を見学できる専用通路を敷地内に展開
 - ・ 訓練エリアや建物内の展示スペースが見学可能

2 施設概要

建設場所 磐田市大久保地内

敷地面積 約 25,000 m²

建築面積 約 3,900 m²

延床面積 約 7,200 m²

総工事費 約 75 億円

構 造 鉄筋コンクリート造3階建て

1階 消防署エリア 2階 消防本部エリア 3階 会議・研修エリア



3 スケジュール(予定)

日程	内容
令和 6年1月 ~ 令和 6年12月	基本設計
令和 7年1月 ~ 令和 7年10月	実施設計
令和 8年3月 ~ 令和 9年 5月	第1期土木工事
令和 9年3月 ~ 令和10年10月	建築工事
令和10年3月 ~ 令和11年 3月	第2期土木工事
令和11年4月	供用開始